



海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム 2024年度4月期学生募集詳細説明資料



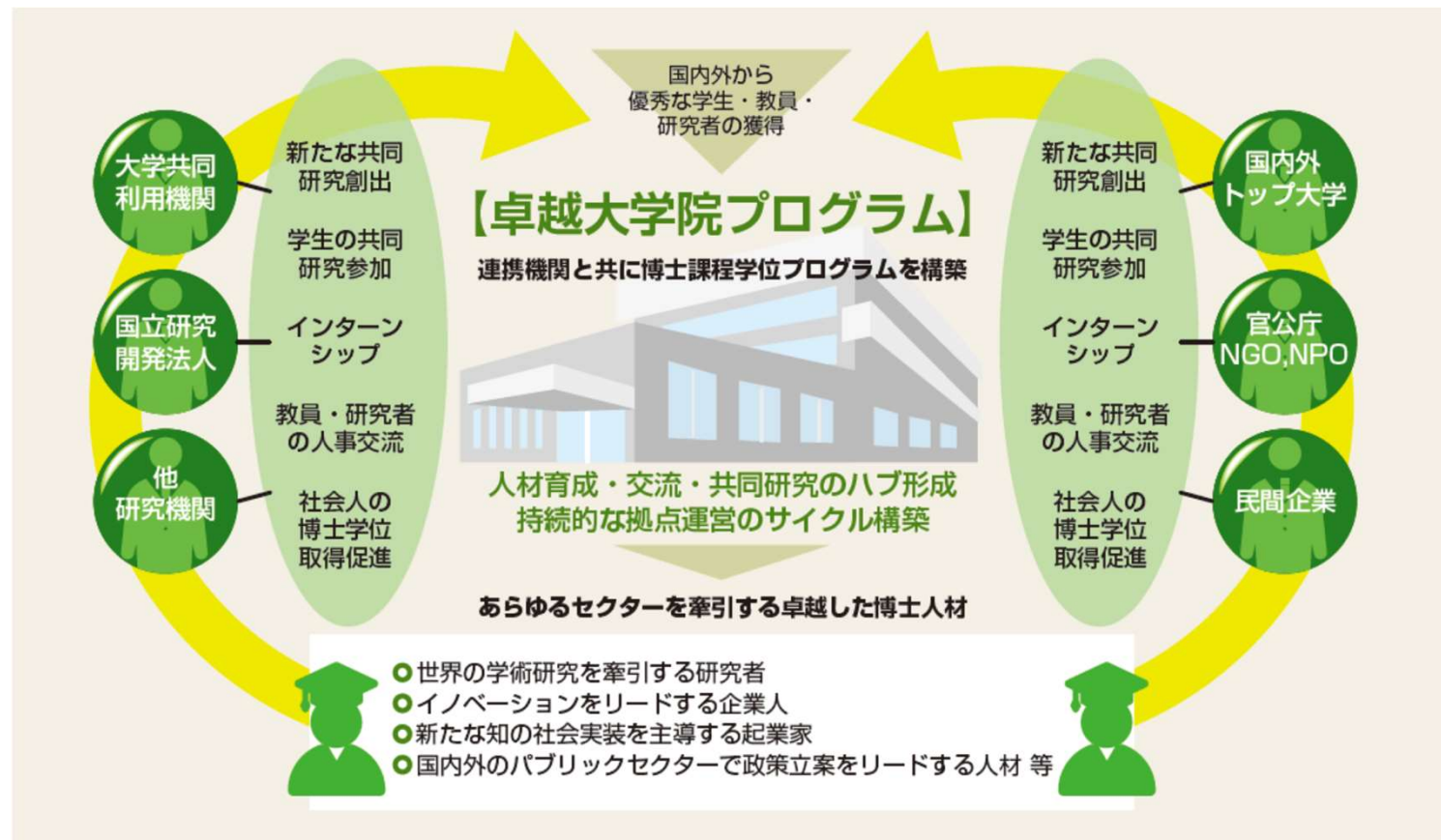
Orientation for Development of WISE Program to foster AI Professionals for Marine Industries



卓越大学院プログラムとは

- 平成30年度より公募開始
- 事業期間7年間
- 世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築
- 人材育成・交流及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成

WISE Program (Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education):
A special program for Five-year Ph.D. degree program.



出展：卓越大学院プログラムパンフレット（日本学術振興会）

採択状況

2018年度 13大学15件

2019年度 9大学11件

2020年度 4大学 4件



One of the only 30 programs selected in total. Selected in 2019.

東京海洋大学は2019年度に採択
(実施期間：2019年度～2025年度（7年間）)



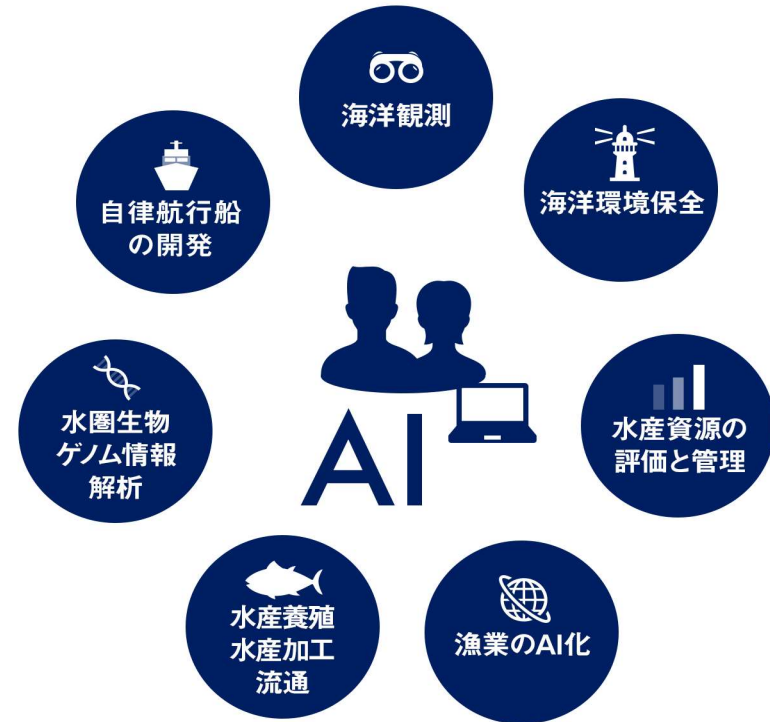
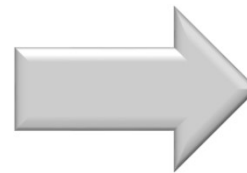
プログラムで養成する人材像

(活躍する分野、価値の創造、人類社会の課題解決)

ビッグデータ解析
機械学習法

海洋、海事、水産についての専門知識
フィールドに関する豊富な経験

異分野との協働



Fostering highly specialized engineers who will lead the social implementation of marine-related AI and people who will conduct maritime policy based on AI.

「海洋産業AIプロフェッショナル」

海洋関連AIの社会実装を主導する高度専門技術者や海洋政策を行う人材

5年一貫のカリキュラム

フィールド

海洋ビッグデータ

AIの社会実装

海洋産業AIプロフェッショナル

博士論文審査+プログラム修了審査 (QAUによる審査)

海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム (博士前期・後期5年一貫 (3~5年目))

定員: 15名/年 (進学者10名+社会人編入学生5名)

必修 (13単位)	人工知能・機械学習特論 (2単位)、データサイエンス社会実装論 (2単位)、海洋AIワークショップⅡ (1単位)、レジデントシップ (2単位)、合同セミナー (2単位)、特別研究 (4単位)
選択必修 (4単位)	プログラム専門科目 (2単位)、高度信頼性評価コース (2単位) 又は社会実装影響評価コース (2単位)

博士論文研究基礎力審査 (QE) + 優秀学生の選抜 (QAUによる審査)

海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム (博士前期・後期5年一貫 (1~2年目))

定員: 10名/年 (全専攻を対象に学生を募集)

必修 (27単位)	人工知能と機械学習 (2単位)、深層学習 (2単位)、機械学習演習 (1単位)、データサイエンス概論 (2単位)、データ工学 (2単位)、データサイエンス演習 (1単位)、海洋AIワークショップⅠ (1単位)、所属専攻の講義等 (4単位)、特別演習 (4単位)、特別研究 (8単位)
選択必修 (4単位)	各専攻におけるプログラム指定科目 (4単位)

授与する学位

<学位の専攻分野>
「博士(海洋科学)」又は
「博士(工学)」

学位記に「海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」修了を付記

連携・フィールド提供

海洋AI
コンソーシアム

各種支援

- ・メンターによる支援
- ・経済的支援
- ・キャリアパス形成 等

就職先

博士後期課程

博士前期課程

Students from any department can participate in.

博士前期課程プログラムのカリキュラム

博士前期課程プログラム

課程の修了要件単位数との比較

プログラムの独自科目15単位

- うち14単位は通常課程の修了要件として算入可能（実質的な増加は1単位）
- プログラム履修学生以外も履修可能

通常の課程と同じ

	科目区分	科目名等(単位数)	必要単位数	
必修	プログラム共通科目 ^{※1}			
	AI(機械学習)系	人工知能と機械学習 (2)	5	
		深層学習 (2)		
		機械学習演習 (1)		
	ビッグデータ系	データサイエンス概論 (2)	5	
		データ工学 (2)		
		データサイエンス演習 (1)		
	異分野との協働に関する科目	海洋AIワークショップI (1)	1	
	選択必修	プログラム専門科目 ^{※2}	各専攻における「プログラム」指定科目 (4)	4
	必修	所属専攻分野の講義または演習・実験・実習		4
所属専攻分野の特別演習		4		
所属専攻分野の特別研究または特定課題研究		8		
合計			31	

※1 各科目は研究科共通科目として開設する。
 ※2 各科目は各専攻において指定する。

合計：31単位（通常の博士前期課程必要単位数+1単位）

実質的な負担+1単位

博士後期課程プログラムのカリキュラム

博士後期課程プログラム

課程の修了要件単位数との比較

プログラムの独自科目11単位

- うち4単位は通常課程の修了要件として算入可能（実質的な増加は7単位）
- 一部の科目はプログラム履修学生以外にも履修可能

通常の課程とほぼ同じ

	科目区分	科目名等(単位数)	必要 単位数
必修	プログラム共通科目 ^{※1}		
	AI(機械学習)系	人工知能・機械学習特論(2)	4
	ビッグデータ系	データサイエンス社会実装論(2)	
	異分野との協働に関する科目	海洋AIワークショップII	1
選択必修	プログラム専門科目 ^{※2}		
		所属専攻分野の講義または演習・実験・実習における指定科目	2
	コース科目 ^{※3}		
	高度信頼性評価コース	安全運航評価論(2)	2
社会実装影響評価コース	社会実装評価演習(2)		
	レジデントシップ		2
必修	合同セミナー		2
	特別研究		4
合計			17

^{※1} 各科目は研究科共通科目として開設する。
^{※2} 各科目は指導教員において指定する。
^{※3} 後期プログラム進学時にどちらかを選択する。

合計：17単位（通常の博士後期課程必要単位数+7単位）

実質的な負担+7単位

博士前期課程向けコースのご案内

海洋×AIの知識を体系的に修得できる学内コース「海洋AIコアコース」を開設 (2023年度4月期～)

コースの特徴

- 産業界から求められる海洋×AIの知識・単位を修得可能
- プログラム共通科目及びプログラム専門科目の中から、10単位以上を修得した者を「海洋AIコアコース」修了者として認定。大学として修了証を交付し、キャリアパス形成を支援。
- 卓越大学院プログラムへの編入が可能 (修得したプログラム単位は要件に算入)
- ワークショップや勉強会参加による企業等との幅広い交流
- 選抜によりプログラム独自のインターンシップに参加可能

博士前期課程プログラム

	科目区分	科目名等(単位数)	必要単位数
必修	プログラム共通科目※1		
	AI(機械学習)系	人工知能と機械学習 (2)	5
		深層学習 (2)	
		機械学習演習 (1)	
	ビッグデータ系	データサイエンス概論 (2)	5
		データ工学 (2)	
データサイエンス演習 (1)			
	異分野との協働に関する科目	海洋AIワークショップI (1)	1
選択必修	プログラム専門科目※2	各専攻における「プログラム」指定科目 (4)	4
必修	所属専攻分野の講義または演習・実験・実習		4
	所属専攻分野の特別演習		4
	所属専攻分野の特別研究または特定課題研究		8
合計			31

※1 各科目は研究科共通科目として開設する。

※2 各科目は各専攻において指定する。

卓越大学院プログラムとの違い

<メリット>

- 海洋×AIに関する学修を気軽に始められる
- AIへの動機、関心が高まった場合は、修得単位を用いて卓越大学院プログラムへの編入が可能

<経済的支援について>

- 充実した経済的支援を受けるためには、卓越大学院プログラムへの参加が必要

卓越RA制度

Scholarship and other financial support

プログラム後期課程学生、前期課程学生を対象に、卓越大学院プログラムとして有益な経験に繋がると見込まれる研究業務について、RAとして雇用する制度を導入※。

最大月額5万円相当を支給。

※研究業務の雇用は要件を満たす必要があり、プログラムへの参加とは別に審査が必要となる場合があります

※国費外国人留学生は対象外（2024年4月入学者から）

※希望により、社会人学生も対象

研究費等支援

研究費（学生一人当たり10万円／年）に加えて、学会やインターンシップ参加等への旅費・参加費の支施。

Financial support as RA of WISE program, and for travel and research expense, applied from Master's course



教育研究支援経費（給付型支援経費）

学業に専念できるように、本プログラム博士前期課程の博士論文研究基礎力審査（QE）において優秀な成績を修めた学生の中から、QAUにおいて選抜し、**博士後期課程在籍中に教育研究支援経費**を支給（月13万円を上限）

※「海洋AIコアコース」からの進学者は、博士前期課程からの受給対象者が5名に満たない場合、教育研究支援経費申請の対象となります

※博士後期課程で教育研究支援経費対象外となった場合も、要件を満たした場合、RAとして10万円を支給します

Education and research support expenses: 130,000 yen per month at least: Applied for selected Doctoral course students

Support for education

海洋AI開発評価センター（海洋・海事・水産を網羅的に教育・研究する拠点の設置）

最新高性能コンピュータとともに海洋に関する観測機器やゲノム解析用高速シーケンサー等、海洋に関する各種ビッグデータを蓄積及び解析を行うための教育・研究システムを整備。

海洋AI開発評価センターは越中島キャンパス第1実験棟3階にある、卓越大学院プログラムを推進する学内共同利用施設である。

メンター制度

Support for education

学内メンター：マルチメンター制による強力なサポート。

「テクニカルメンター」（AIの技術面を相談・支援）

「学生支援メンター」（キャリアパスや学生生活面での相談・支援）

「キャリアパス支援WG」（キャリアパス構築に関する情報共有）

学外メンター：連携機関の有識者がメンターとなり、プログラム後期課程の学生を対象に広く海洋諸問題へのAI社会実装に関する相談やキャリアパスの相談を行う

英語研修

Mentor faculties will support your research on AI

グローバルな人材育成の一環として、論理的な会話力・実践的なミーティングスキルの獲得を目的として、M1～D1を対象に英語研修を実施している。

Udemyの利用

English training program

Udemy（ユーデミー）とは、動画学習サービスを提供するオンライン学習プラットフォームであり、卓越大学院プログラムでは、約5,000講座（Udemy for Business）で自由に学ぶことが可能。Udemyで提供されているコンテンツはプログラム科目の事前学習や博士後期課程の授業でも活用する予定であり、英語学習の利用も可能。

You can use Udemy: an online learning platform that provides video learning services

Support for education

海洋AI学生勉強会

プログラム参加学生有志、あるいは教員有志を交えて、互いに情報共有する機会やフォローを受ける機会を設け、海洋AIに関する最新の知識や、プログラミングの技術を共有することを目的とする勉強会。

海洋AI勉強会plus

Marine AI student study session

東京海洋大学海洋産業AI卓越大学院プログラムにおける学生の勉強会の場である「海洋AI学生勉強会」の発展形として、試行錯誤段階における気楽な発表および意見交換の場という位置づけは維持しつつ、関連する産業界や研究機関の研究者・開発者の方にもオープンに参加していただき、より活発な交流の機会の場を設けるもの。

インターンシップ・レジデントシップ

Internship and Residency

自分の研究への気づきを得ることを目的として、AIの社会実装に特化したインターンシップ（博士前期課程）、レジデントシップ（博士後期課程）を実施している。

【テーマ例】

- マルチエージェントシステムによる輸送シミュレータの開発
- プラクトン検鏡作業の自動化システムの開発業務
- 船舶DXに関するAI開発、データ解析
- テキストマイニングを用いた海洋関連白書解析と政策分析
- 人工サンゴ礁を用いた、サンゴ礁の健康診断技術開発



海洋AIコンソーシアム (2023年12月時点)



連携機関



国立研究開発法人
海洋研究開発機構
(JAMSTEC)



国立研究開発法人
水産研究・教育機構

国立研究開発法人
水産研究・教育機構



国立研究開発法人
海上・港湾・航空技術
研究所



いであ株式会社



BEMAC株式会社



NPO法人
マリン・テクノロジスト



Technical
University
of Denmark



海洋政策研究所
SASAKAWA PEACE FOUNDATION

公益財団法人
笹川平和財団
海洋政策研究所

協力機関 (参画順)



株式会社イノカ



一般財団法人
日本気象協会



株式会社ニッスイ



マルハニチロ株式会社



古野電気株式会社



日本無線株式会社



株式会社MTI

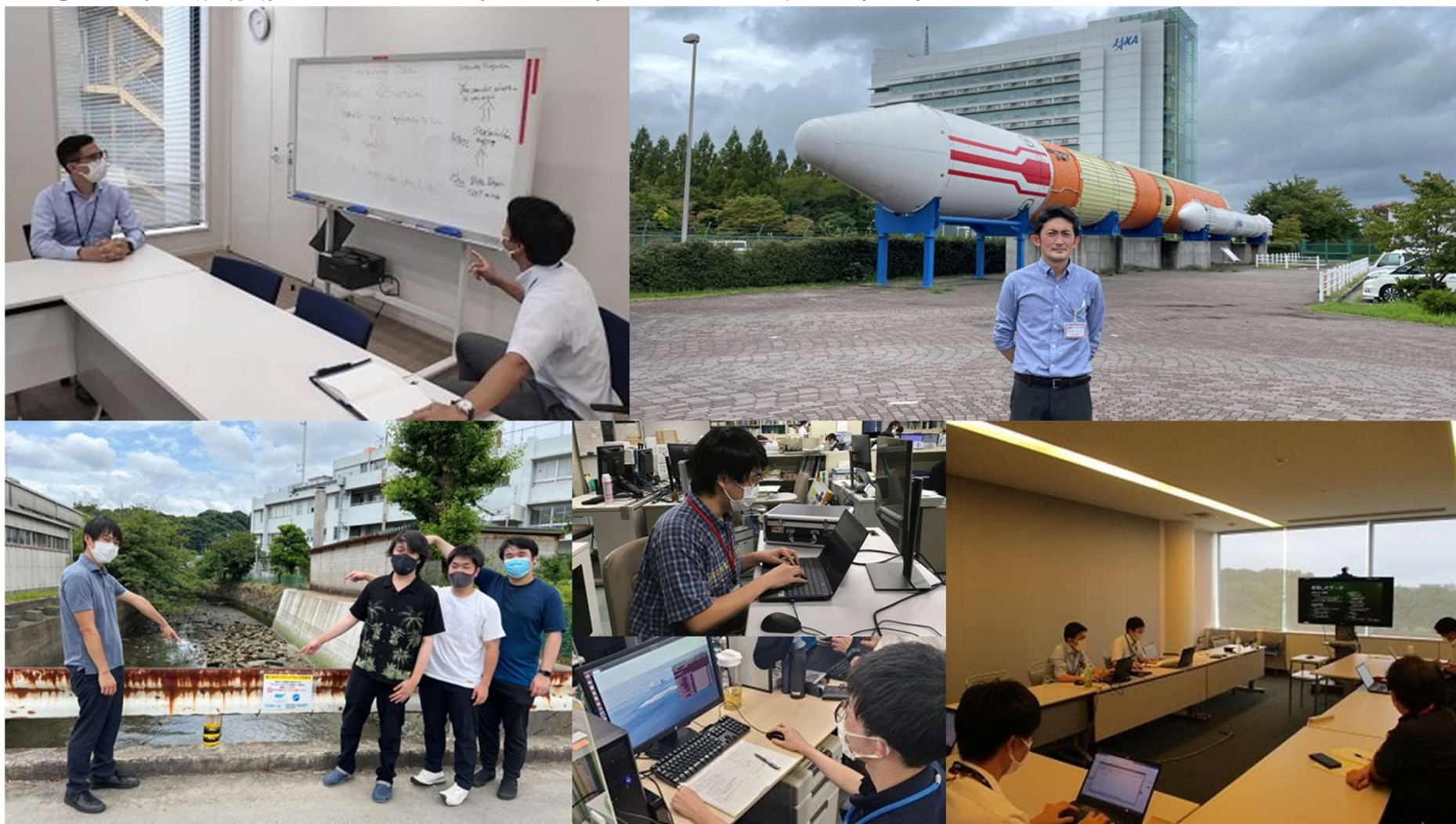
(活動状況)

コンソーシアム連携機関へのインターンシップ・レジデントシップ



【目標】

- ❑ AIの社会実装の現場を知り、自分の研究テーマへの気づきを得る。
- ❑ 後期課程学生向けの「レジデントシップ(2単位)」では、実社会におけるAI実装の長期間かつ高度な体験を通じて、学生の社会実装能力を高め、海洋x AIの卓越したハイブリッド人材を育成する。






卓越インターンシップ 2023年度の派遣プロジェクト実績

- 卓越インターンシップは、M1学生のAI履修進捗も考慮し、4月と10月にプロジェクトを募集し、マッチング。コンソーシアム参画9機関から17の受入れプロジェクト候補をいただき、延べ20名の学生が5月～参加。
- 卓越レジデントシップでは、長期間（6～10か月）、有給による雇用契約を締結（雇用形態、報酬、誓約書/NDA等は受入先機関の規則に従う）。レジデントシップ期間中および（双方が合意すれば）修了後も学生からの質問、相談に対応する「学外メンター」にもなっていた。

受入機関	受入プロジェクト等	実施期間
国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	機械学習・画像認識を用いた海中映像からの海洋生物検出	5/8～6/8
	画像認識AIの海洋地球科学への応用に関する研究開発	7/11～8/5
	機械学習・画像認識を用いたマイクロプラスチックの検出および判別	9/13～10/13
	飼育魚の摂餌行動解析	9/25～10/31
国立研究開発法人 水産研究・教育機構	マダコの陸上養殖、タイラギの研究取材（百島庁舎）	6/16～6/30
	資源評価モデルの課題	8/1～8/14
	漁船の安全運航に関する研究ならびに研究計画策定	8/14～9/8
いであ株式会社	DNA分析体験	8/7～8/8
	AI技術を用いた魚群モデルの構築	8/21～9/1
	海底の開発事業に伴う環境影響評価の実務体験	10/2～10/6
NPO法人 マリン・テクノロジスト	瀬戸内海を航行するフェリーの最適航海計画のボトルネック解析（ウェザールーティング）	2022/11/9～継続中
公益財団法人 笹川平和財団 海洋政策研究所	機械学習（AI）と社会課題とのギャップ解明について（仮題）	11/20～12/1
一般財団法人 日本気象協会	波浪予測精度向上	6/1～8/31
株式会社ニッスイ	養殖カンパチに寄生するXXXの自動検知研究（一部マスキング）	7/24～10/24
古野電気株式会社	強化学習を用いた船体航路制御アルゴリズムの研究	8/21～9/1, 9/4～9/15（レジデントシップ）






□ 参加プログラム学生の声（抜粋）

-  …今後の研究において自分の分野と異分野を融合させることは博士後期課程での目標なので、**異分野に飛び込む良い経験**であった
-  …**AIモデルをPC上で終わらせるのではなく、実際に世界中の人に届け、利用していただくために必要なノウハウを身につけることができた**
-  …日本にまだ普及していない深層学習フレームワークや最新の取り組みなど経験でき、**自身の研究のモデル精度を高められた**



□ コンソーシアム受入機関の評価（抜粋）

-  …新しい問題に対して積極的に解決策に取り組み、教育効果だけでなく、**受入機関の実際の業務にとっても有益な結果が得られた**
-  …社員とのディスカッションで今後の事業展開の可能性について議論が盛り上がり、**非常に良い刺激を受けた**
-  …素直で謙虚かつ能動的な学生が短期間で高いパフォーマンスを発揮され、**受入れ側が学ばせていただいたことも多かった**



インターンシップ終了報告(Web)

⇒ インターンシップ終了後も非常勤職員として有給でプロジェクトに継続参加をオファーされるケースも複数あり

(活動状況)

コンソーシアム連携機関によるワークショップ



海洋AIワークショップ I・II

【目標】 海洋分野の俯瞰的な見方を深め、異分野コミュニケーション能力を養う。



海洋AIワークショップ I・II 2023年度の討論テーマ

- 2022年度は、2021年度の3倍強の学生が参加し、対面によるグループ討議（6回中4回）で活発な意見を出し合った。さらに最終回は、国費留学生優先配置プログラムの留学生も参加して英語によるワークショップも開催し、各国の違いも意識したアイデアが出された。
- **2023年度はプログラム学生22名が参加。加えて創発的人材育成プロジェクトや国費留学生優先プログラムからも参加した。**

	開講日 (4,5時限)	テーマ	担当講師	場所(*1)
第1回	2023/7/6(木) 4時限目	AI関連プロジェクトの進め方（講義） AI技術者が身につけるべきコミュニケーション力（講義）	東京海洋大学	
第2回	2023/7/6(木) 5時限目	(前半30分) ワークショップの進め方（講義+デモ）	東京海洋大学	越中島 多目的教室
		(後半60分) 海運/運航の今昔そして未来（講義+QA）	NPO法人マリンテクノロジスト	
第3、4回	2023/7/13(木)	災害時輸送の背景と問題	国立研究開発法人海上・ 港湾・航空技術研究所 (海上技術安全研究所)	越中島 多目的教室
第5、6回	2023/9/7(木)	水域の生物調査および漁業調査に活用できるAI技術等のアイデア出し	いであ株式会社	品川 1号館14教室
第7、8回	2023/9/14(木)	海洋プラスチック汚染の現状把握と将来予測において、AIをいかに活用することができるか	JAMSTEC	品川 1号館14教室
第9、10回	2023/10/5(木)	水産生物のゲノム情報を水産業の発展のために、どのように活用できるか	国立研究開発法人水産 研究・教育機構	品川 1号館14教室
第11、12回	2023/10/12(木)	AI・データ分析を活用して、どのように海事産業の課題を解決するか	BEMAC株式会社	越中島 多目的教室
第13、14回	2023/10/19(木) (国費留学生優先 配置プログラムとの 共催)	海洋政策について(TBA)	公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所	品川 1号館14教室
第15回	2023/10/26(木) (4時限目)	まとめ・振り返り		
懇親会	2023/10/26(木) (5時限目)	・各機関から学生へのメッセージ（博士一貫5年教育修了人材への期待） (15分/機関)	議事進行：東京海洋大学 参加者：全講師、全受講学生	レンタルカフェ

□ 参加プログラム学生の声（抜粋）

- …自分の専門分野と頭の使い方が違って新鮮だった。
政策をAIに結び付けるというのは衝撃だった。
- …お互い否定せず改善点を見つけていくコミュニケーションの大切さを学んだ
- …海洋大出身者は海のこと何でも知っているって思われる。
自分の専門以外のことでも話せたらカッコいい



□ コンソーシアムからの各回担当講師の声（抜粋）

- …ある課題について他者と共同して考える力がますます求められる。自分が学生時代にこういう授業を受けたかった。
- …違う分野の仲間と議論して自分の意思を伝える力、相手を理解する力は組織でも大事
- …社会に実装していくには技術だけでなく政策や経済、人間の行動心理、各国の地理や歴史、広い知識から課題に取り組むことが必要でそういうことができる授業に感動



- マッチングしたプログラム学生と企業・機関が長期の関係を築き、インターンシップやレジデントシップへの受入れ、そして将来的なキャリアパスにまでつなげていく機会

博士課程学生の不安を払拭・期待に応える

- ・5年先の博士終了の姿（キャリアパス）への不安
 - 学生と社会が直接かつ広範囲に接触できる
 - 海洋産業界の幅広いニーズを知り、自分の研究意義（今後実際に活用できる企業など）をより一層明白に。
 - 自分の能力をアピールする場（チャンス）を拡大
 - インターンシップ・レジデントシップ（実社会経験）機会創出（長期の関係を築き、修了後の採用に繋げていく）



海洋産業界からの声（本イベントへの期待）

- ・業界専門知識&AI技術者（希少価値）へのアプローチ
- ・インターンシップ・レジデントシップに繋がられる（よりマッチした博士人材へのアプローチ）
- ・現場で相互の相性を確認できる（マッチングの度合いを高められる）
- ・現場の課題解決に向けて、学生を通して技術相談・共同研究に繋げる
- ・PhD活用のロールモデルの構築につながる



2022年度
海洋AIマッチングWeek

博士人材と海洋産業界の架け橋に!

学生

- 博士課程学生のキャリアパスへの不安払拭
- 産業界での博士人材の活躍の機会発見

産業界

- 業界専門知識&AI技術者へのアプローチ

1st Session
プログラム学生及び企業紹介の場 (オンデマンド)
2023年3月6日(月)~10日(金)

2nd Session
企業によるQA対応
2023年3月9日(木)~10日(金)

3rd Session
企業と学生の1 on 1ミーティング
双方の都合に合わせて個別に設定

参加機関一覧(予定)

- 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
- 国立研究開発法人水産研究・教育機構
- 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
- いであ株式会社
- BEMAC株式会社
- NPO法人マリン・テクノロジスト
- 公益財団法人菅川平和財団海洋政策研究所
- 株式会社イノカ
- 一般財団法人日本気象協会
- 株式会社ニッセイ
- マルハニチロ株式会社
- 日本無線株式会社
- 古野電気株式会社
- 株式会社MTI

Marine AI 海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム
連絡先 marine-ai_office@o.kaiyodai.ac.jp

21名の博士課程学生と13社・機関のコンソーシアム参画機関が参加。
20組のマッチングが成立し、5月より順次インターンシップに参加中。

募集人数

Recruitment for April 2024 (Students enrolled in the Master's course in 2024,2023)

- 10名 (2024) 、若干名 (2023)

応募資格

次の①～③のいずれか、及び④の要件を満たすこと。③の場合は、⑤の要件も満たすこと。

① 令和6 (2024) 年度4月に本学大学院博士前期課程1年次に入学予定の者

※入学者選抜に出願していれば、合格発表前でも応募可能

② 令和5 (2023) 年度10月に本学大学院博士前期課程1年次に入学した者

③ 令和5 (2023) 年度4月に本学大学院博士前期課程1年次に入学した者

④ 修士の学位取得後に引き続き本学博士後期課程に進学する意思を有し、本プログラムの教育・研究理念に合致する目標を持つ者

⑤ 令和6 (2024) 年3月31日までにプログラム共通科目「人工知能と機械学習」「深層学習」「データサイエンス概論」「データ工学」のうち、1科目以上を修得している者 (修得見込含む)

選抜方法

• 1次選抜：書類審査

学部での成績および志望理由、研究計画等から総合的に評価

• 2次選抜：面接審査

面接審査では5分間程度のプレゼンテーション及び10分間程度の質疑応答 (計15分) により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価

2024年1月12日 (金) より応募受付開始
募集選考に関する詳細は募集案内をご確認ください

募集人数

Recruitment for April 2024 (Students enrolled in the **Doctoral** course in 2024,2023)

- 5名 (2024) 、 若干名 (2023)

応募資格

次の①～③のいずれか、及び④～⑦の要件を満たすこと。

- ① 令和6 (2024) 年度4月に本学大学院博士課程 (博士後期課程) 1年次に入学予定の者
※入学者選抜に出願していれば、合格発表前でも応募可能
- ② 令和5 (2023) 年度10月に本学大学院博士課程 (博士後期課程) 1年次に入学した者
- ③ 令和5 (2023) 年度4月に本学大学院博士課程 (博士後期課程) 1年次に入学した者
- ④ 「社会人特別選抜」による出願であること
- ⑤ 企業等に正規雇用として2年以上の勤務実績があること。
- ⑥ AI・データサイエンスに関する研究成果もしくは専門レベルの知識があること。
- ⑦ 本プログラムの趣旨を理解し、博士後期課程3年間で修了する意思がある者

選抜方法

- 1次選抜：書類審査
最終出身学校での成績および志望理由、研究計画等から総合的に評価
- 2次選抜：面接審査
面接審査では10分間程度のプレゼンテーション及び10分間程度の質疑応答 (計20分) により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価

2024年1月12日 (金) より応募受付開始
募集選考に関する詳細は募集案内をご確認ください

博士後期課程2024年入学者「海洋AIコアコース特別選抜」 (2024年4月募集)



募集人数

Recruitment for Marine AI Core Course Special Selection in April 2024
(Students enrolled in the Doctoral course in 2024)

- 若干名

New!!

応募資格

次の①～④の要件を満たすこと。

- ① 令和6（2024）年度4月に本学大学院博士後期課程1年次に入学予定の者
※ 入学者選抜に出願していれば、合格発表前でも応募可能とする。
- ② 「海洋AIコアコース」のコース修了要件を満たしていること
- ③ AI・データサイエンスに関して、博士後期課程における専門分野へのAI適用能力を明示できること（AI・データサイエンスに関する修士論文を執筆していればなお望ましい）
- ④ 本プログラムの趣旨を理解し、博士後期課程を3年間で修了する意思がある者

選抜方法

- 1次選抜：書類審査
最終出身学校での成績および志望理由、研究計画等から総合的に評価
- 2次選抜：面接審査
面接審査では20分間程度のプレゼンテーション及び10分間程度の質疑応答（計30分）により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価

2024年1月12日（金）より応募受付開始
募集選考に関する詳細は募集案内をご確認ください



海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム (東京海洋大学 教務課)

- E-mail : marine-ai_office@o.kaiyodai.ac.jp
- H P : <https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/marine-ai/>